

東京工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	計算機工学	
科目基礎情報						
科目番号	0103		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	教科書: 坂井修一「コンピュータアーキテクチャ」コロナ社					
担当教員	山下 晃弘					
到達目標						
コンピュータを構成する基本的な要素の役割とこれらの間でのデータの流れを説明できる。 プロセッサを実現するために考案された主要な技術を説明できる。 メモリシステムを実現するために考案された主要な技術を説明できる。 入出力を実現するために考案された主要な技術を説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
コンピュータを構成する基本的な要素の役割とこれらの間でのデータの流れを説明できる。	コンピュータを構成する基本的な要素を説明でき、データの流れや制御を効率的に行う方法についても理解している。	コンピュータを構成する基本的な要素を説明できる	コンピュータを構成する基本的な要素について理解できていない。			
プロセッサを実現するために考案された主要な技術を説明できる。	プロセッサを実現する技術や設計方法について理解している。	プロセッサを実現する主張な技術の概要を説明できる。	プロセッサを実現する技術について理解できていない。			
メモリシステムを実現するために考案された主要な技術を説明できる。	メモリシステムを実現する技術や設計方法について理解している。	メモリシステムを実現する主張な技術の概要を説明できる。	メモリシステムを実現する技術について理解できていない。			
入出力を実現するために考案された主要な技術を説明できる。	入出力を実現する技術や設計方法について理解している。	入出力を実現する主張な技術の概要を説明できる。	入出力を実現する技術について理解できていない。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	これまでに学んだ二進数の計算や論理回路の設計方法を使用し、コンピュータを構成する要素の基本原理について理解し、コンピュータ内でデータがどのように処理されるのかを理解する。					
授業の進め方・方法	授業方法は講義を中心とし、途中で演習などを行う。					
注意点	2進数計算や論理回路の設計方法についての理解がベースとなるので、まだ理解があまりできていないと思う場合はしっかりと復習しておくこと。					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	デジタルな表現	二進数表現を理解し、負の数や実数をビット列で表現できる。		
		2週	論理回路を用いた計算処理と加減算機	論理ゲートを理解し、組み合わせ論理回路を用いた加減算機の仕組みが説明できる。		
		3週	ALUとレジスタ	ALUの基本的な構造について説明できる。フリップフロップを用いたレジスタの基本的な構造について説明できる。		
		4週	レジスタとALUの結合	レジスタとALUを結合し、計算処理のサイクルについて説明できる。		
		5週	主記憶装置とレジスタファイル	主記憶装置（メモリ）とレジスタファイルの基本的な構造について説明できる。		
		6週	命令	命令が実行される仕組みとサイクルについて説明できる。		
		7週	シーケンサ	シーケンサの基本的な構造と役割について説明できる。		
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	命令セットアーキテクチャ	命令セットがソフトウェアとハードウェアの接点になっていることを説明できる。		
		10週	アドレッシングとサブルーチン	アドレッシングの仕組みと、サブルーチンが実現される仕組みについて説明できる。		
		11週	パイプライン処理 1	CPU内の処理を複数の工程に分けて効率化するパイプライン処理の基本的な考え方について説明できる。		
		12週	パイプライン処理 2	パイプラインを実現する際に困難な点とそれを解決する手法について説明できる。		
		13週	キャッシュと仮想記憶 1	キャッシュの基本的な仕組みと役割について説明できる。		
		14週	キャッシュと仮想記憶 2	仮想記憶の基本的な仕組みと役割について説明できる。		
		15週	入出力と周辺装置	コンピュータの入出力と周辺装置の種類や動作原理の基本について説明できる。		
		16週	期末試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	計算機工学	コンピュータを構成する基本的な要素の役割とこれらの間でのデータの流れを説明できる。	4	
				プロセッサを実現するために考案された主要な技術を説明できる。	4	

				メモリシステムを実現するために考案された主要な技術を説明できる。	4	
				入出力を実現するために考案された主要な技術を説明できる。	4	
				コンピュータアーキテクチャにおけるトレードオフについて説明できる。	4	

評価割合

	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	20	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0